

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

大山町議会議員 大森正治・池田幸恵・西山富三郎・

岡田 聰・野口昌作・大杖正彦

令和元年大山町議会議員研修報告書

1	日 時	令和元年7月10日(水)	
2	研 修 地	全国町村議員会館	
3	研 修 内 容	( 内 容 )	( 場 所 )
		(1) 町村議会広報クリニック：講義	全国町村議員会館 (東京都千代田区)
		(2) 同 同：議会広報紙のクリニック	
いずれも第1分科会 講師：長岡光弘氏(グラフィックデザイナー)			
4	研修結果 又は概要 (意見・感想)	<p>(1) 講義「議会広報紙のクリニック視点」</p> <p>1. 編集の視点</p> <p>1) 議会の担う役割が紙面に訴求されているか。 2) 目指す広報紙の編集方針が住民に伝わる編集か</p> <p>1) 広報紙としての機能を訴求しているか</p> <p>①議会審議・説明責任・意見決定の情報 ②行政監視チェックの情報 ③調査・政策提案の情報 ④住民の声・意見反映の情報</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">議会の担う役割が住民に伝わる議会活動の広報紙</p> <p>2) 目指す広報紙の編集方針が住民に伝わる編集か</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"><p style="text-align: center;">編集の基本条件</p><p>1 住民目線を考慮し、紙面情報は分かりやすく読みやすく 2 議事公開を心がけ、議案の討議及び議決の経過が分かる 3 訴求力のある紙面で住民の目をひきつける</p></div> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;"><u>広報紙発行の基本方針(何を伝えるか)</u></p>	

## 議会活動の認知を住民に図る



### 広報紙の編集方針（どのように情報を住民に伝えるか）

編集方針の例①：議会の担う役割を強く打ち出した広報紙

<編集例>

- ・議案審議した情報に、議会からの主張を加える
- ・予算・決算情報は、議会の評価及び提言を加える
- ・委員会活動の情報に提言情報を加える

編集方針の例②：住民の代表者である議会を強く打ち出した広報紙

<編集例>

- ・議会からの情報に、住民の意見情報を加える
- ・予算・決算情報は、住民の意見及び議会の評価と提言を加える
- ・行政への評価・提言情報は、住民の意見を反映する

### 編集方針をしっかりと定めた議会広報紙を

## 2. 情報把握ができる紙面構成か

1) 情報の集約化を図った紙面構成になっているか

情報の流れが容易に伝わるように集約化を図った紙面構成にする。

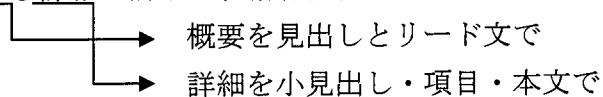
2) 関連情報の検索が容易にできるよう編集工夫がされているか

同じ関連情報が、審議紙面・委員会紙面などに掲載されている場合は、情報の検索が容易にできるよう編集工夫をする。※誘導する

## 3. 住民に情報が伝わる編集か

1) 紙面の情報が住民に容易に伝わる編集か

情報概要から詳細へ訴求し、情報把握が容易に図れる編集を



2) 議案情報は、賛否だけでなく、議案内容が住民にわかる編集か

- ・議案内容が住民にわかる説明を記述する
- ・議会用語は、脚注で説明する

3) 本文の一文が長くなく、情報の理解を高めた読みやすい文章か

- ・文章は短文で構成した読みやすい文章を。一文は 60 字以内が読みやすい

4) 一般質問の紙面は、質問・答弁の要点を訴求した編集か

—読ませる紙面編集を—

<質問の改善例>

- ・質問背景の長い文章  
→ 質問背景の要点を簡潔に訴求する
- ・長い質問分掌に対して、極端に短い答弁文章

- 質問・答弁とも情報を要約し、情報のバランスを
- ・会話を文章化したため一文が長い文章
- 短文で読みやすい文章に
- ・長い質問情報に対する長い答弁情報
- 長い質問・答弁情報には、小見出しを加え情報のメリハリを

#### 4. 住民に情報が伝わる紙面表現か

- 1) 情報区分が伝わる紙面表現が施されているか  
住民の目を引く表現を考慮し、情報区分の違いを訴求する表現を
- 2) 視線の誘導を考慮した紙面表現か  
縦組みは、右上から左下に視線は流れる  
横組みは、左上から左下に視線は流れる
- 3) 読みやすい紙面表現か
  - ・1行の文字数を少なくし、読みやすい文字組にする
  - ・行間を開け、読みやすい文字組にする
- 4) 目移りする紙面表現ではないか  
例：項目表示を過度に強調すると、目が疲れる  
→ 見やすい紙面表現が望まれる

#### (2) 議会広報紙のクリニック

参加町村 55 町村のうち、第 1 分科会は 29 町村。そのうち、広報紙を提出してクリニックを希望した町村は 11 町村。

11 町村の広報紙一つ一つについて、講師からクリニック（講評）をしていただき、表表紙から裏表紙までのすべての区分タイトルについて、良い点と改善点を指摘していただいた。

大山町議会は「議会だより だいせん」56 号をクリニックしていただいた。  
クリニックの具体例（表表紙についてのみ記す）

##### 【良い点】

- ・題字に目がいくデザイン
- ・表紙全体のレイアウトバランスもとれている
- ・表紙に表示した題字・コンテンツの可読性も良い
- ・写真は恥じらう子どものしぐさを見事にとらえている。住民の目を引きつける表紙写真

##### 【改善点】

- ・魅力的な写真であるが、写真のピントが悔やまれる  
→ 表紙を飾る写真の選択は、ピントのシャープな写真が望まれる

そのほかの指摘については、別紙に譲る。

### (3) まとめ

自分たちで仕上げた広報紙を善い点と改善点に分けて具体的に指摘していただき、今後の紙面作りに大変参考になった。

他の町村広報紙のクリニックにおいても、現物を見ながらの講評だったので、比較ができたり特長点が発見できたりして有意義であった。

今回の広報クリニックの研修をこれからの「議会だより だいせん」の紙面作りに生かして、編集の理念としている「読んでみたくなる紙面」「住民目線で読みやすい内容」に磨きをかけていきたい。